

形成外科

2024年は、周知の通り『働き方改革』が実働した年である。外傷をはじめとした疾患頻度は変わらないが、労働量をいかに削減していくかを実務と併せて試行錯誤した1年であったと思う。

2024年6月から城守医師が産休から時短勤務ではあるが復帰したため、常勤医5名体制をとっている。

形成外科は専門病床を14床有しており、週5日の外来枠（月・火・水・木・金の午前）を有している。手術枠は改定があり、週5日（3.5枠）の定期枠（月・火・木曜午後+水・金曜全日）を有している。その他に準緊急手術に関してはエキストラ枠で行っている。

2024年4月から“ぶらすチーム”を発足し、保険診療内の形成外科医療のみではなく、自由診療による形成外科医療も患者さんに提供できるようにしたことが大きな変化である。“ぶらす”は形成外科のplasticsurgery、患者さんをよりよくするという＋、どのような患者さんにも適切な自己肯定感をもって欲しいという意味のplastic adjustments for self-affirmationを掛け合わせた多義造語です。

当院形成外科の根幹として据えている「あったらいいな」を実現し「仕方がない」を減らす、つまり、イマよりも“笑顔”を増やすことを保険診療の枠にとらわれずにさらに追求していきます。

2024年は呼吸器外科と連携し、漏斗胸のNuss法手術にも取り組み始めた。今後も当科と他科を連携することでさらに広がりのある医療を患者さんに提供できるように邁進していく所存です。

2024年の手術手技数は1,531件であった。

現在、神戸大学形成外科連携施設、浜松医科大学形成外科連携施設、群馬大学形成外科連携施設となっている。今後、常勤医師数の増加に尽力し、より幅広くより迅速に形成外科的医療を提供できる体制としたい。

（部長 辻本 賢樹）

・医師数 4名 ・専攻医 1名
・初期研修医 2名

（2025年4月現在）

＜2024年1月～12月の手術件数＞ （単位：件）

全麻手術	560
伝麻手術	2
局麻手術	969
合 計	1,531

＜上記期間の手術疾患内訳＞ （単位：件）

外傷	299
先天異常	31
腫瘍	807
瘢痕・ケロイド	62
難治性潰瘍	42
炎症・変性疾患	64
美容	2
その他	71

【入院患者】 （単位：人）

	2020	2021	2022	2023	2024
新 入 院	327	544	552	574	627
退 院	370	542	575	581	619
延べ人数	19,007	6,916	7,332	7,185	6,370
一日平均	52.1	18.9	20.1	19.6	17.5

【外来患者】 （単位：人）

	2020	2021	2022	2023	2024
新 来	291	673	594	700	732
再 来	12,847	9,376	10,479	11,192	10,860
延べ人数	13,138	10,049	11,073	11,892	11,592
一日平均	44.8	34.3	37.8	40.6	39.6

【平均在院日数】 （単位：日）

年 度	2020	2021	2022	2023	2024
日 数	53.5	11.7	12.0	11.3	9.3